

# から便り1月号

新年を迎え、皆さまのご健勝ご多幸を祈念いたします

私たちは、山陰の日本海沿い、千代川河口に位置する地域で、皆さまと共に生活しています。自治会・町内会では、明るく健康的で住みやすい地域を目指し、80年以上にわたり、地域福祉、安心・安全、環境美化、防犯・防災、文化継承などの活動に取り組んできました。

そのような中、昨年（2025年〈令和7年〉）12月8日深夜（23時15分）に、青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5、最大震度6強の地震が発生し、後発地震注意情報が発令されました。被害は比較的少なかったものの、過去に大規模地震が頻発している地域であることから、大地震や大津波に備え、枕元にすぐ避難できる準備を整えるよう注意喚起がなされています。

鳥取では、1943年（昭和18年）9月10日、鳥取地震（マグニチュード7.2、震度6〈烈震・現在の震度7相当〉）が発生しました。震源の深さが極めて浅い直下型地震であったため、被害は甚大で、死者1,210名、重軽傷者3,860名、家屋の全半壊27,400棟などの大きな被害をもたらしました。

私たちは、これまでの大地震を教訓に、防災を「自分事」として捉え、防災意識と知識の習得、避難訓練や避難行動の重要性を改めて認識する必要があります。安心・安全は、与えられるものではなく、自ら考え、準備することで守られるものです。

毎年実施されている自主防災会による地震・津波等の避難訓練に参加することは、自分の命を守る「自助」としての絶対的な備えと言えます。訓練を重ねることで、実際の地震や津波発生時に、瞬時にどのような行動を取るべきか判断できるようになります。経験こそが最大の自助となります。さらに、日頃から自宅周辺の海拔の高さ（津波・高潮への留意）、住宅の耐震性、大雨による洪水や土砂災害の危険度などについて、自ら確認しておくことが重要です。

自治会・町内会・自主防災会では、今後も防災に関する知識や情報を継続してお知らせしてまいります。今年も、皆さまと協働して行動することで、地域の安全・安心につながっていくものと確信しております。

賀露町自治会 会長 芥島 寿美 副会長 石黒 智、綱田 喜一  
事務局 美川 裕教

## 今月の行事予定

### <自治会>

#### ●代議員会

日 時 1月25日(日) 13:30～  
場 所 地区公民館 3階大会議室

### <社会福祉協議会>

#### ●社協・民児協 合同会議

日 時 1月16日(金) 19:00～  
場 所 華彩魚

### <食事サービスボランティアの会>

#### ●食事サービス

日 時 1月21日(水)  
対 象 ひとり暮らし高齢者などの方

### <健康づくり推進員会・食育推進員会>

#### ●推進員伝達講習

日 時 1月14日(水) 10:00～  
場 所 地区公民館

### <賀露地区公民館>

#### ●おやこ教室

・1月14日(水) リトミック 10:00～  
・1月28日(水) 節分 10:00～  
・2月25日(水) 閉講式 10:00～

#### ●大福茶で新春を祝おう 主催：お茶っ子クラブ

日 時 1月17日(土) 10:00～12:00  
場 所 地区公民館 1階和室  
一 服 300円  
申込み 地区公民館へ TEL0857-28-1034



ホームページ



公民館大倉庫



Instagram



You Tube

第58号 2026年1月1日発行  
発行責任者 賀露町自治会 Tel 50-0456  
karojichi@circus.ocn.ne.jp  
編集担当者 賀露地区公民館 Tel 28-1034  
cc-karo@it.city.tottori.tottori.jp  
住 所 鳥取市賀露町南5丁目1718-3

自治会活動・公民館活動等で撮影した写真、動画をホームページ、SNSへ掲載することがあります。

## からのお宝発見伝

賀露のお宝を紐解き、お届けします。この掲載の内容は、  
公民館ホームページ「公民館大倉庫」でもご覧いただけます。



### 行商の歌人 ～ 賀露を愛した英傑たち 山田輝子 ～

仙台市生まれの輝子さんが、横須賀で海軍に航空機部品などを納める仕事をしていた山田治郎さんと結婚したのは昭和12年。治郎さん27歳、輝子さん22歳でした。

鳥取大地震が発生した昭和18年9月、治郎さんに召集令状が届きました。11月に横須賀海兵団に入団。3人の幼子と妊娠中の輝子さんを残しての出征でした。

昭和19年9月、戦況が悪化し、治郎さんの郷里である賀露へ疎開しました。一軒の家と広い畑を与えてもらい、老父母や縁者の温情に包まれながらの生活でした。「夫が帰ってきたら、また横須賀に戻れる」とひたすら働き続けましたが、待ち続ける輝子さんに届いたのは、治郎さんの戦死を告げる戦死公報。昭和21年5月のことでした。

「賀露は昔から、浜に水揚げされた魚を女たちが天びん棒で担い、あるいは大八車にのせて山里に売り歩き、女が暮らしを立て、自立して生きる土地柄だ」

治郎さんの戦死を知った日から、輝子さんはこの地の習いに従い、行商をしながら子どもを育てることを決意しました。

朝、3時半に家を出て、市場で魚を仕入れ、6時過ぎには山里に持って行って売る生活が続きます。市場に出回る食料が不足して鮮魚介類の自由な販売が禁止された時、自転車に積んだ魚を警察に没収されました。魚が売れぬままに遠い山家まで足を延ばし、ようやく帰ってみると、子どもたちが門口に立って泣いていたこともありました。あまりにも辛いとき、輝子さんは賀露の浜に出て、じっと海を眺めたそうです。

夕昏るる浜辺にたちて亡き夫をよべど空しき潮騒の音

(ゆうぐるる はまべにたちて なきつまを よべどむなしき しおさいのおと)

昭和59年、歌集「行商の日日」を出版。「行商の歌人」として全国から注目を集めました。

昭和61年11月、ふとしたことから治郎さんが戦死した場所が「テニアン島」であることが分かりました。昭和62年、島の巡拝慰霊団に加わった輝子さんは、密林に設けた祭壇の近くの木に、賀露の浜辺で詠った短歌「夕昏るる…」を書いた色紙を結び付けました。



テニアン島での慰霊

夫恋うる色紙一ひらジャングルの御霊に供う心亢ぶり

(つまこうる しきしひとひら じゃんぐるの みたまにそなう こころたかぶり)

輝子さんを支えていたのは、治郎さんと4人の子どもたちへの深くて静かな愛でした。その想いは短歌として結実し、幾年を経てもなお褪せることなく輝き続けています。

今年、輝子さんは、生誕110年の節目を迎えます。

※ 参考資料：山田輝子 編集・著作「戦争…行商の歌」（1988年）



# 地域の活動報告



## <自治会>

### ■理事会 12/13(土) 主要事項

- ・令和8年賀露町総有財産会・自治会定例代議員会の開催について  
日時：1月25日(日) 午後1時30分～  
場所：賀露地区公民館 3階大会議室
- ・令和8年自治会行事予定（自治会直轄事業）について  
賀露校区民大運動会 6月7日(日)、賀露校区民文化祭 10月4日(日)  
賀露地区防災訓練 11月15日(日)を内定しました。
- ・賀露町自治会と南隈町内会との連携について  
今後の連携について、来年1月理事会にて協議（内定）し、同月25日(日)の代議員会で審議します。
- ・除雪作業の協力をお願いについて  
大雪時は、県・市が道路の除雪を行います（業者委託）。家の前に雪の塊が残る場合がありますので、その塊の解消に、皆様のご協力をお願いします。

・11月9日の賀露町一斉防災訓練で、会員の安否確認を行いました。  
今回の参加者（避難行動者）は、町全体で1,249人（R6年1,342人、R5年1,301人）、家にいる人・不在者を合わせて合計3,582人（R6年3,804人、R5年3,777人）でした。

大災害時の自助で最も重要なのは、自分の命を守るための「避難行動」です。避難訓練を毎年継続して行うことで、いざという時に体が自然に動くようになります。しかし、実際の災害時には、貴重品の場所、履物、避難先、移動手段、食料や水、季節に応じた服装など、瞬時に判断すべきことが多くあります。現在の訓練は「逃げること」が中心で、こうした判断まで十分に体験できていません。だからこそ、日頃から訓練を重ね、具体的な行動を家族や地域で確認しておくことが大切です。

また、避難と同様に重要なのが自宅の地震対策です。家が倒壊してしまったりは、命が助かってでも安心して戻ることができません。耐震診断や家具の固定など、今できる地震対策から始めましょう。

### ■不明者本人情報作成のお願い

先日、賀露町内で行方不明の方が発生し、家族から警察署へ捜索を依頼しました。幸い短時間で無事が確認されましたが、迅速な対応には、ご本人の情報を事前に把握しておくことが重要です。自治会では、毎年「本人確認表（行方不明者本人情報）」を全戸配布しています。万一に備え、あらかじめご記入のうえ、保管していただきますようお願いいたします。

## <交通安全協会 賀露支部>

### ■交通安全教室 12/15(月)

賀露保育園、賀露みどり保育園にて、交通安全教室を行いました。横断歩道は、大人も子どもも元気に手を上げてわたりましょうね♪

## <公民館>

### ■おやこ教室 12/10(水) 参加 48人

サンタクロースさんがやってきて、みんな大喜び。クリスマスメドレーでは、歌って踊って、笑顔あふれるひとときになりました。

### ■冒険さち② 12/7(日) 参加 92人 同主催：子ども助成会

大人も子どももおもいきり「あそび」を楽しみました。

### ■寄せ植えと美味しいコーヒー 12/16(火) 参加 26人

お花と美味しいコーヒーに癒されました。

## <社会福祉協議会>

### ■第3回男の料理 12/12(金)

### ■ひとり暮らし高齢者

### 年末お見舞い 12/19(金)

民児協・食事サービスボランティアの会とともに、ひとり暮らし高齢者などの方(211名)へ年末お見舞いをお渡ししました。



## <健康づくり推進員会>

### ■健康体操② 11/20(木) 参加 18人

### ■健診結果説明会相談会

### &定例会 11/28(金) 参加 15人



## <民生委員協議会>

### ■市社会福祉大会 11/27(木)

民生委員・児童委員功労者4名、社会福祉団体等役員功労者1名、保護司功労者1名が表彰されました。退任される3名へは感謝状が贈呈されました。長期に渡りご尽力いただいたことに感謝いたします。

### ■民生委員・児童委員改選 12/1(月)

賀露地区においては、再任委員を含めて地区委員の体制が決まりました。町民の皆様の良き相談相手となるよう努めてまいります。

## <食事サービスボランティアの会>

### ■食事サービス 12/17(水)

【今月のメニュー】ゆかりごはん、煮物、香物  
クリスマスチキン、ポテトサラダ、レタス  
ゆで卵、ブロッコリー、リンゴ、チョコレート



## <賀露地区人権啓発推進協議会>

### ■小地域座談会 上浜区 12/20(土)

ご参加、ありがとうございました。

### ■視察研修 12/4(木) 参加 18人

### 忘れられた80年前の「境港・玉栄丸爆破事故」に学ぶ

講師：根平雄一郎さん（伯耆文化研究会会長）  
昭和20年4月23日、境海岸壁で荷揚げ作業中、たばこの吸い殻が原因で火薬（軍の機密事項）に引火しました。その結果、4回の爆発が発生し、死者120名以上、負傷者309名を出し、市街地の約3分の1が被災しました。終戦間際に発生した山陰地方最大の戦災（人災）でした。戦争による人権侵害について研修し、慰霊碑を参拝して献花・追悼を行い、命の尊さと平和の大切さを胸に刻みました。

# 1月の行事予定

※ 変更になることがあります

日	曜日	行事予定	サークル等
1	木	元旦	
2	金	年末年始 休館 及び 自治会・公民館 12/27(土)-1/4(日)	
3	土	自治会・公民館休館日～1/3まで	
4	日	自治会・公民館事務室閉室日	
5	月	有害ゴミ・乾電池等(南隈・晩稲)	
6	火	自治会監事監査 自治会執行部会	レッツダンス
7	水	民児協定例会	
8	木		扇舞
9	金		フレイル予防体操
10	土	自治会理事会	
11	日		
12	月	成人の日	伝承芸能保存会
13	火	賀露すなばこども食堂	おりがみ・詩吟 コーラス・レッツダンス
14	水	自治会執行部会 食推健推合同伝達講習、健推定例会 おやこ教室「リトミック」	茶道・書道
15	木	自治会理事賀露小学校参観	扇舞 3B体操
16	金	社協・民児協合同会議	民踊 フレイル予防体操
17	土	大福茶で新春を祝おう 地域食堂まんまや	
18	日	第4回ろっこ広場 「小学校へ行こう」参加者大募集！ 申込み… 地区公民館へ	
19	月		やどかりの会
20	火	第4回ろっこ広場 「小学校へ行こう」	レッツダンス
21	水	自治会執行部会	茶道・書道
22	木	有害ゴミ・乾電池等(賀露町)	扇舞 3B体操
23	金	社協執行部会	フレイル予防体操
24	土		
25	日	代議員会	伝承芸能保存会 唄
26	月		
27	火		詩吟 コーラス・レッツダンス
28	水	おやこ教室「節分」	お花 書道・茶道・パステル
29	木	【予告】2/7(土)9:30～味噌づくり 主催：女性の会	扇舞 3B体操
30	金	詳しくは、班回覧をご覧ください。	民踊 フレイル予防体操
31	土	社協理事会	